

2月定例会提出予定議案について

予算関係

1 令和8年度当初予算（案）

・歳出予算	2
・債務負担行為	12

令和8年2月
環 境 部

1 令和8年度当初予算（案）歳出予算

令和8年度当初予算提案予定額（総括）

（単位：千円）

区分	R7年度 予算額（A）	R8年度 提案額（B）	財源内訳				前年比 B/A	
			国庫	特定	起債	一般		
一般会計	人件費	1,405,457	1,441,408	0	0	0	1,441,408	102.6%
	事業費	3,456,958	3,316,212	1,537,808	740,856	0	1,037,548	95.9%
	合計	4,862,415	4,757,620	1,537,808	740,856	0	2,478,956	97.8%

一般会計（事業費各課一覧）

（単位：千円）

区分	R7年度 予算額（A）	R8年度 提案額（B）	財源内訳				備考
			国庫	特定	起債	一般	
総務課	48,316	48,467	0	2,851	0	45,616	100.3%
環境政策課	1,186,379	1,048,773	331,800	384,349	0	332,624	88.4%
自然鳥獣共生課	1,425,588	1,529,365	1,033,122	190,918	0	305,325	107.3%
水大気課	617,673	494,185	67,134	122,356	0	304,695	80.0%
環境整備課	179,002	195,422	105,752	40,382	0	49,288	109.2%
合計	3,456,958	3,316,212	1,537,808	740,856	0	1,037,548	95.9%

2026(令和8)年度 環境部重点施策


脱炭素

拡 水素ステーション整備費補助事業燃料電池トラック導入促進補助事業…………… 4


自然共生

新 狩猟デビュープロジェクト…………… 5

拡 ツキノワグマ管理総合対策事業…………… 6

拡 特定外来生物防除等対策の推進…………… 7

新 桜を守ろうプロジェクト…………… 8


資源循環

拡 食品ロス削減に向けたひょうごフードドライブの全県展開…………… 9

新 使用済紙おむつリサイクルモデルの構築…………… 10

拡 ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム事業の推進…………… 11

脱炭素～2050年脱炭素社会の実現～

拡充 水素ステーション整備費補助事業 燃料電池トラック導入促進補助事業

97,456千円

〔 持続可能な兵庫づくり基金 〕

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	97,456	0	0

- 水素社会の早期実現に向け、県内における水素ステーションの整備及び水素消費量の大きい燃料電池トラックの導入に対する補助を引き続き実施



FC大型トラック

○実施内容

区分	内容	対象経費	補助上限額
水素ステーション整備費補助事業	大規模ステーション (水素供給能力：500Nm ³ /h以上)	設計費、工事費、 機器導入費 等	100,000千円/基
	中規模ステーション (水素供給能力：50Nm ³ /h以上、500Nm ³ /h未満)		50,000千円/基
	小規模ステーション (水素供給能力：50Nm ³ /h未満)		12,500千円/基
燃料電池トラック導入促進補助事業	燃料電池 (FC) 小型トラック	車両購入費	12,500千円/台
	【新】燃料電池 (FC) 大型トラック		40,000千円/台
	燃料費補助 ※対象：県補助金の交付を受けて導入された車両	燃料費	FC小型トラ： 960千円/台 FC大型トラ： 2,400千円/台

令和8年度当初予算 環境部重点施策

自然共生
～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

新規 狩猟デビュー応援プロジェクト

18,688千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	2,740	0	15,948

〔狩猟免許事務手数料〕

➤ 野生動物による農林業被害等の低減を図るため、狩猟者の確保・育成に取り組むとともに、狩猟免許所持者の高齢化対策として若年層の狩猟免許取得を促進

○狩猟にかかる情報発信の強化：3,800千円

- ・研修情報や狩猟者登録・免許取得手続、狩猟にあたっての留意事項等の情報を集約した **ポータルサイトを開設**
- ・漫画作品等と連携した **若手狩猟関心層向けのセミナー・交流会を開催**

○狩猟免許試験回数の増加：6,140千円

- ・試験回数を **8回→10回に増加**、受験定員を **約900名→約1,200名へ拡大**

○狩猟実践アドバイザーの配置：2,048千円

- ・猟友会等の狩猟グループとのマッチングや猟具の確保方法など、狩猟開始にあたって直面する課題に対応する **相談窓口**を県立総合射撃場内に設置



狩猟デビュー研修（わな猟）のイメージ

○狩猟デビュー研修の実施：6,700千円

- ・猟場において、捕獲から解体処理まで、**狩猟の一連の流れを実践する研修**を実施

対象者：新規免許取得者及びペーパーハンター

実施回数：わな猟（2日間）・銃猟（1日間） 各2回

拡充 ツキノワグマ管理総合対策事業 (緊急銃猟の実施に向けた支援)

53,899千円

自然共生
～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
39,774	0	0	14,125

指定管理鳥獣対策事業交付金（環境省）
鳥獣被害防止総合対策交付金（農水省）

- 改正鳥獣保護管理法（R7.9.1施行）により、人の日常生活圏にクマ等が出没した場合に、市町長の権限で地域住民の安全の確保の下で銃猟が可能になった（**緊急銃猟制度**）ことから、市町における**体制整備等への支援**を実施するとともに、**捕獲従事者の人材育成等**の対策を強化

(単位：千円)

区 分	内 容	予算額
【拡】市町の体制整備		29,953
市町による緊急銃猟の実施体制整備・出没防止対策支援	防護資材・監視機器等の購入、誘引物除去にかかる経費を補助	24,000
市町への出没防止対策の指導	訓練の実施、緊急銃猟マニュアル作成等に対する指導	500
クマ管理人材及び捕獲従事者の確保	市町職員向け研修の実施、専門人材の配置	5,453
有害捕獲への支援		7,696
市町による有害捕獲の実施支援	クマ捕獲用わな購入費の補助	4,200
	市町が有害捕獲したクマの麻酔による不動化及び処分	3,496
錯誤捕獲個体の行動監視強化		16,250
放獣個体の監視及びモニタリング調査	シカ・イノシシ用のわなに誤って捕獲されたクマの調査、放獣及び監視	15,750
近隣府県と連携した錯誤捕獲個体の行動監視の実施	京都府、岡山県、鳥取県と連携し広域的に行動監視を実施	500
合 計		53,899

自然共生

～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

拡充 特定外来生物防除等対策の推進

91,959千円

特定外来生物防除等対策事業（交付金）
消費・安全対策交付金
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
84,299	0	0	7,660

- 特定外来生物対策本部の検討を踏まえ、生態系、農林水産業等への被害を防止するために必要な対策を実施

○ナガエツルノゲイトウ：73,147千円

- ・河川・農地における防除及びメンテナンスの実施



ナガエツルノゲイトウ繁茂の様子



遮光シート施工後の様子



遮光シートを突き破っている様子



水田に侵入している様子

- ・防除手法が確立していない農業用水路や、有機農業・多毛作地域における新たな防除手法の実証
- ・環境DNA分析を用いたナガエツルノゲイトウの早期発見・生育状況調査

○クビアカツヤカミキリ：15,234千円

- ・防除作業の外部委託
- ・生産地域で取り組む新たな防除体系の確立に向けた実証

○普及啓発等（他種の防除対策費を含む）：3,578千円

新規 桜を守ろうプロジェクト

4,171千円

〔ふるさとひょうご
寄附金〕

自然共生

～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	4,171	0	0

- 特定外来生物（ナガエツルノゲイトウ・クビアカツヤカミキリ）の被害拡大を防止するため、ふるさと寄附金を活用し、県民の協力を拡大する取組を実施

○特定外来生物発見通報の推進：190千円

通報フォームからの確定通報件数の上位20名へデジタル商品券等を進呈

順位	金額
1位～5位	10,000円
6位～10位	5,000円
11位～20位	2,000円

○桜の木を守ろうプロジェクトの展開：3,981千円

地域のシンボルツリー（桜の街路樹等）を公募し、クビアカツヤカミキリの侵入から守るため事前の被害予防策を実施

事業内容 専門家を派遣し、対象樹木へのネット巻を実施

実施本数 50本（5本×10地域）

実施時期 10月～3月

拡充 食品ロス削減に向けたひょうご フードドライブの全県展開

3,518千円

資源循環

～脱炭素や自然共生に繋がる循環型社会の実現～

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	3,518

▶ 家庭での未利用食品を福祉施設等に寄付する「ひょうごフードドライブ」の全県展開を図るため、フードドライブに取り組む事業者等に対して支援を実施するとともに、普及啓発の充実や実施体制の強化を図る。

○スタートアップ支援事業：750千円【補助内容の見直し】（下線部）

新たにフードドライブに取り組む団体に対して**初期経費を支援**

対象者 スーパー、福祉団体、地域団体、学校、事業者（補助対象者の拡充）

対象経費 広告費、運搬費、ボランティア経費等（補助対象経費の拡充）

補助率 1/2（1団体あたり上限50千円）（上限25千円から増額）

補助件数 15団体

○支援アドバイザーの派遣：507千円【新】

スタートアップ支援事業活用者等に対して**実施の手順や留意点などを助言する専門家を派遣**

派遣回数 15回程度（概ね1団体あたり3時間×2日間（準備・当日））

○寄付者側と要支援者側間の支援内容の可視化：1,033千円【新】

寄付者に支援の成果を実感してもらえるよう**要支援者の声を動画で届ける**ことなどを通じて支援を促進

○効果的な普及啓発：897千円

ひょうごSDGs月間(10月)や夏休前などの機会を捉え、SNSでの配信強化やスーパー店舗・企業などと連携した効果的な普及啓発を推進

○実施体制の充実・強化：331千円

推進ネットワーク会議での優良事例や課題解決などに向けた方策を共有し、取組の機運を醸成



新規 使用済紙おむつリサイクルモデル の構築 7,694千円

新しい地方経済・
生活環境創生交付金

資源循環
～脱炭素や自然共生に繋がる循環型社会の実現～

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
3,847	0	0	3,847

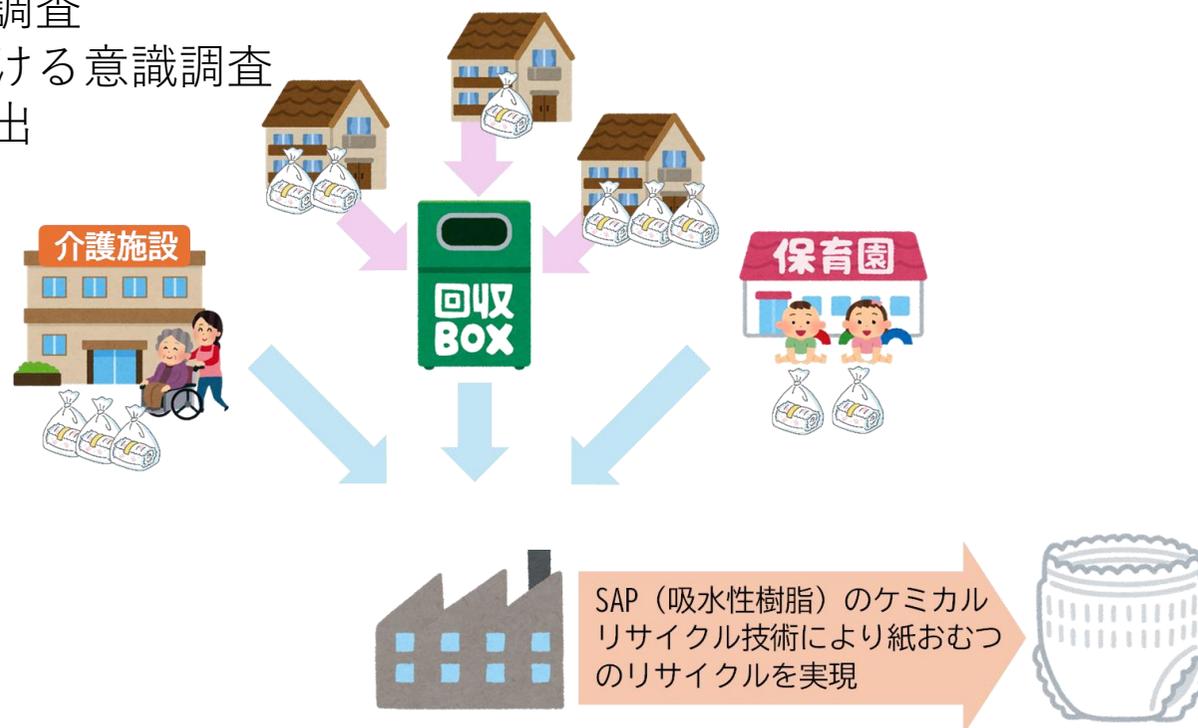
▶ 兵庫県資源循環推進計画に基づき、今後排出量の増加が見込まれる使用済紙おむつについて、使用済紙おむつ回収・リサイクルシステムひょうごモデルの構築と県内市町への展開を目指す

○システム構築検討会の開催：601千円

検討会委員（予定）：有識者、リサイクラー、排出事業者、市町

○県内紙おむつ排出量調査検討：7,093千円

- ・ 県内市町の紙おむつ排出量調査
- ・ モデル地区（姫路市）における意識調査
- ・ 調査結果を踏まえた課題抽出



拡充 ひょうごプラスチック資源循環 コンソーシアム事業の推進

3,247千円

地域未来交付金
地域創生基金
ふるさとひょうご寄附金

資源循環

～脱炭素や自然共生に繋がる循環型社会の実現～

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
461	962	0	1,824

- ▶ 観光やスポーツなど異分野業種や市町、リサイクラー等と連携し、プラスチックの使用削減などの促進や、市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環などプラスチック資源循環促進方策の具現化を推進

○海ごみ早期発見・回収活動の見える化：1,485千円

ごみ拾い活動の情報を掲載する情報プラットフォームを活用し、プラスチックごみの削減を促進



ごみ拾い活動の様子

○集客イベントにおけるワンウェイプラスチックの削減：923千円【新】

リユース容器を利用する集客イベント出展者の経費を補助し、プラスチックごみの発生抑制を徹底した集客イベントを実施



イベントでのごみ分別回収のイメージ

○資源循環フォーラムの開催：839千円【新】

プラスチック等の資源循環に取り組む関係者（団体、学校、企業、市町等）が一堂に会し、取組紹介や新たな連携を模索する資源循環フォーラムを開催

内容：各団体等の取組事例を紹介するポスターセッション
県民を対象とした講演会・パネルディスカッション

2 令和8年度当初予算（案）債務負担行為

事項	期間	限度額（千円）
県有施設のLED化改修事業費 （令和8年度分）	令和9年度	277,223
	令和10年度	554,446
	令和11年度	554,446
	令和12年度	554,446
	令和13年度	554,446
	令和14年度	554,446
	令和15年度	554,446
	令和16年度	554,446
	令和17年度	554,446
	令和18年度	554,446
	令和19年度	554,446
合計	5,821,683	